

フィールド風

(現場)からの風

宮田守男

秋の七草の一つで、お月見にも欠かせない薄。秋の深まりとともに穂が少しずつ銀白色に変わり美しい姿を見せている。冬に葉も

穂も枯れ果てて茎だけ残った姿は「枯尾花」と呼ばれ、冬の風情を楽しませてくれる。

今年夏は夏の時季の秋野菜の種まきが順調だったためか、旬の野菜が野菜直売場をにぎわしている。この時期には体を冷やす事から、嫁を心配して「秋茄子は嫁に食わずな」と言い伝えがある。夏から秋にかけて収穫期の長い茄子。夏の強い光を浴びて育つ夏茄子は皮が厚く身が締まっているのだが、この時季収穫できる秋茄子は皮が柔らかくて水分も多く、甘みや旨さもたっぷり、畑では可憐

な紫の花も咲き続けているので、しばらくは楽しみが続くのではないだろうか。

9月26日から医療機関が保健所に報告する内容が「65歳以上の高齢者」「入院が必要な人」「妊婦」「重症化リ

視点を變えてみる 取り組みに注目だ

スクのある人」だけになったため、27日からは「大町保健所」としての数値しか発表しないことに。実情を知らないものは、発表が「大町」のため「大町市はコロナ感染が大変」との勘違いをする

話が聞こえてきてしまう。実際に各市町村別の感染者数の発表が取りやめになってからは、危機意識が緩慢になってきたとの声が。「全数把握」の簡素化で数値把握などに従事され

た方々の過度な負担は解消に向かうだろうが、この発表方式の変わりにより、感染者が危機意識の薄れから激増にならないよう祈るばかりだ

毎日新聞主催・長野県などが後援した「Re thinkフォーラム」視点を變えれば、世の中は變わる」でRe thinkフォーラムの存在を初めて知る。「Rethink」は直訳すれば「考え直す」ことだ。「当たり前をもっと深く考える。これまで無い視点や考えを活かして、社会構造と向き合う」との趣旨のようだ。

「視点を變えれば世の中は變わる。たとえ半分だけ水の入ったコップを見て、もう半分しかないのかと思うか、また半分もあると思うのか」当たり前



白馬Aコープ内地場産直売コーナー、大北地域から届く産品も魅力だが新規農業者の増加傾向にも期待したい

だと思っていたことで、違う視点から見つめ直してみると、新しい発見があることがあります。「一人では気付きにくい新しい視点に気付くことで、地域活性化のきっかけを見つけたい。」(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)